



素晴らしい自然大切に

東京都あきる野市
岸野 則子さん (51歳)
〔山田出身・旧姓武藤〕

ふる里山田同郷の会は以前から広報やまだを見て知っていたので、いつかは出席したいと思っていました。初めての参加で心細く夫も連れてきましたが、思っていたより出席者が多くにぎやかな雰囲気楽しく過ごすことができました。東京生まれの夫は、毎年お盆と一緒に山田へ帰り、自然の中で釣りをしながらのんびり過ごすのを楽しみにしているんですよ。素晴らしい自然はいつでも残してほしいですね。



参加者の楽しみの一つである物産販売では古里の味を次々に買い求めていました

山田弁が心地よいです

東京都足立区
千葉キヨさん (63歳)
照井明子さん (53歳)
〔船越出身・旧姓熊谷〕



学校を卒業後、就職のためにこちらに来ましたが、今は姉妹同士近くで暮らしています。今日は学生時代の恩師に声を掛けていただき、初めて参加しました。皆さんが話す山田弁を聞きながら昔話や近況報告をしていると、古里に帰ったような気持ちになりとても心が和みます。今度帰省したときには、山田にいる母に今日のことを話してあげたいと思います。



懐かしい顔との再会に思い出も尽きません



年に1回の楽しみです

東京都墨田区
黒澤多美さん (73歳)
〔織笠出身・旧姓中山〕

今日はサークルの仲間とアトラクションにも参加しました。ふる里会には発足当時から参加していますが、年に1回同郷の皆さんと会えるのが本当に楽しみです。山田には毎年帰っていますが、最近では町内の商店が閉店したり宿泊施設が少ないなど、あまり町に活気がないように感じます。景気が回復して古里が元気になってほしいですね。



アトラクションでは「南京玉すだれ」などが披露され、大いに盛り上がりました

による「南京玉すだれ」や「かつぱれ踊り」が披露されたほか、特産品が当たる抽選会も行われ、場内の雰囲気はより一層和やかに。また会場では、8月15日に山田で開催される花火大会への協力と、岩手宮城内陸地震の被災者への支援が呼び掛けられ、会員の皆さんからの郷土愛あふれる多くの募金が寄せられました。2時間という短い時間でしたが、参加した皆さんは同郷の皆さんとの交流に満足した様子。最後に地区ごとに記念撮影を行い、来年の再会を約束しつつ会場を後にしました。



古里のなまいを懐かしく

120人が集い思い出語り合う



新会長に就任した小川徹弘さん

総会では、佐々木道義会長が「皆さんのご協力により、同会も今年で23回目を迎えることができました。ふる里会の名誉顧問であった鈴木善幸元内閣総理大臣の銅像が建立され、明日、除幕式を迎えます。山田に帰省した際には、ぜひ善幸先生のご尊顔を拝観していただきたいと思っております。今日はごゆっくり楽しんでいただきたいと思います」とあいさつしました。

続いて、川村永爾副町長が町長からのお祝いのあいさつを代読。「鈴木善幸元内閣総理大臣

東京近郊に暮らす本町出身者などが集い、交流を深め合う「ふる里山田同郷の会」が7月19日、東京都中野区の中野サンプラザを会場に開かれました。今年で23回目となる同会には120人が出席。町からも川村永爾副町長をはじめ職員5人、町議会から昆暉雄議長、山田町商工会から阿部幸栄会長が参加しました。総会終了後には、「懇親交流の集い」が開かれ、参加者は年に一度の同郷人同士の交流を楽しみました。

を顕彰する会に對しまして並々ならぬご支援をいただき、町民を代表してあらためて感謝申し上げます。町の産業は大変厳しい環境におかれていますが、住民と一体となって活性化を図り、古里山田の歴史と文化を守っていく決意です。引き続き町に対する温かいご支援をお願いいたします」と述べました。

その後、平成19年度の事業報告や本年度の事業計画が審議され、原案どおり承認されました。また、今年役員改選も行われ、新会長に小川徹弘さんが就任しました。

総会終了後の「懇親交流の集い」は昆暉雄町議会議長の乾杯の音頭で幕が開け、会場のスクリーンに山田の秋祭りのシーンが放映される中、参加した皆さんはほろ酔い気分でした。アトラクションではふる里会幹事も所属する隅田川かつぱれ七子ノ会